

2019年 2月 8日

町 会 各 位

丸善石油化学株式会社千葉工場
事務部長 清水 克 應



装置の計画停止・稼働時のフレアー・スタック燃焼について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊工場の操業につき、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、弊工場では第四エチレン装置熱交換器の不具合を補修するため、装置の計画停止を実施致します。

つきましては、装置が安全に停止するまでの間および装置稼働開始時の下記期間におきましてフレアー・スタックの炎が断続的に大きくなりますので、あらかじめご連絡申し上げます。

なお、装置停止および運転開始にあたりましては、近隣町会様へ多大なるご迷惑をお掛け致しますこと心よりお詫び申し上げますとともに、安全の確保・環境への影響には十分留意いたす所存でございますので、何卒ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

敬 具

記

対象装置：第四エチレン製造装置

◎計画停止におけるフレアー・スタック燃焼日時

2月15日（金）午後 ～ 2月18日（月）

◎稼働時におけるフレアー・スタック燃焼日時

2月25日（月）午前 ～ 3月 1日（金）

◎問合せ先 丸善石油化学株式会社千葉工場 総務課

TEL 0436-25-3111

フレアー・スタックとは石油精製、石油化学等、可燃性ガスを扱う工場には必ず設置される保安設備で、その機能は設備の運転時に発生する余剰ガスを燃焼処理することで安全を確保しています。

以 上

フレアースタックについて

石油精製、石油化学等、可燃性ガスを扱う工場には保安設備(安全設備)としてフレアースタックが設置されています。この設備は、プラント(製造装置)から出てくる余剰ガスを装置から十分安全な距離に設置した煙突(フレアースタック)の先で燃やすことで無害化する設備です。余剰ガスは、主にプラントの稼働時および停止時に多く発生しますが、緊急時にもすぐに使えるように、常に少量のガスを小さな炎(パイロットバーナー)で燃焼させています。

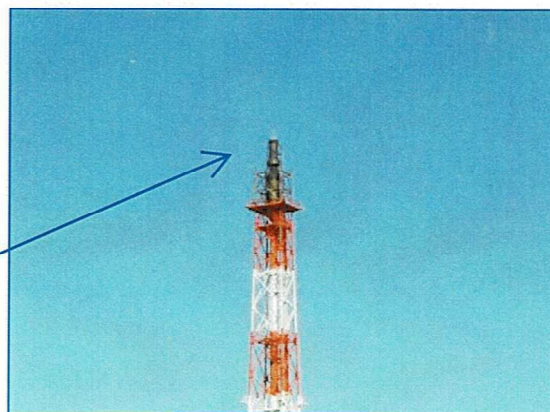
大量の余剰ガスを急に燃やすと不完全燃焼で黒煙が発生してしまうため、フレアースタックの燃焼部分に蒸気を吹き込み、ガスと空気をよく混合して完全燃焼させる工夫がされています。

フレアースタックの燃焼状態

1) パイロットバーナーの燃焼(通常状態)

緊急時に機能させるため少量のガスを常時燃やしています。炎はほとんど見えません。

緊急時に備え、パイロットバーナーが燃えている通常状態

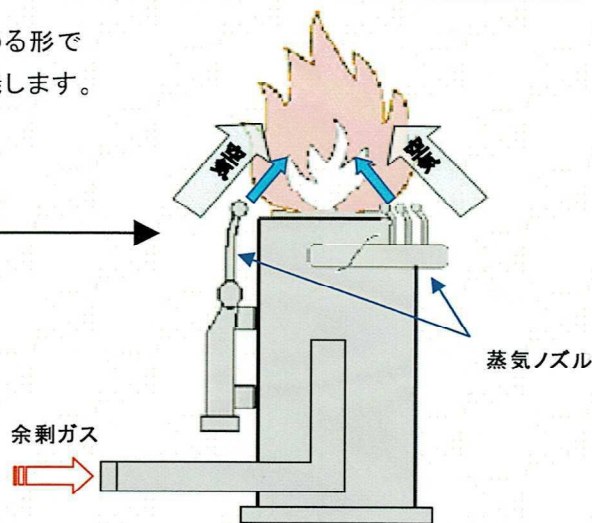


2) 船で発生した余剰ガスの燃焼

船に製品(エチレン等)を積むときに、製品と入れ替わる形で船内の残ガスが余剰ガスとして発生します。これを燃焼します。ガス量は少ないので短炎となります。



拡大図



3) プラント(製造装置)の稼働・停止時の燃焼

弊社のプラントでは、原料のナフサを分解してエチレン・プロピレンを作りますが、運転開始時にはエチレンやプロピレン等の製品が決められた高純度の製品となるまでに、製品とならない低純度のガスが発生します。また、運転停止時においても装置内には製品となる前の低純度のガスが残ります。これらの余剰ガスを安全に処理するためにフレアースタックで燃焼します。ガス量が多いため長炎となります。



以上